

社会貢献活動 基本方針 / 活動事例

基本方針

いまCSR(企業の社会的責任)の重要性が謳われていますが、弊社ではさまざまな活動を通して社会的責任を果たしています。創業以来「ここにイーグルがあって良かった」と言っただけのお店づくりを心がけ、最終的には企業理念に掲げている「社会に必要とされる企業」を全社一丸となって目指しています。

そのため、何よりもお客様から「ありがとう」の言葉を頂けるよう日々の業務に努めるとともに、少しでも社会のお役に立てられればとの思いから社会貢献活動にも積極的に取り組んでまいりました。

なかでも、2003年8月に始めた臓器移植医療支援活動はホールで遊技されるお客様から寄付玉を募るという、全国でも例のない取組みとして注目されています。弊社ではこれからも自ら社会に貢献する活動を積極的に展開していくとともに、社会貢献の事業を実施している組織・団体を支援していくことで社会に認められる産業を、そして弊社の究極の目標である「社会に必要とされる企業」を目指していきます。

臓器移植医療支援

一人の出会いから始まった 「臓器移植医療支援」

弊社を代表する社会貢献活動です。

この活動は社長の美山が臓器移植医療の世界的な権威である藤堂省(とうどう さとる)北海道大学医学部第一外科教授(当時)から、ホールに落ちていたパチンコ玉を臓器移植医療支援に活用できないものかと提案されたことがきっかけになっています。藤堂教授の提案をヒントに、美山はこの支援活動をお客様とともに行うという発想に至り、お客様の善意で玉・コインを寄付していただくこととしました。

2003年8月より各店舗に「愛の一玉ボックス」を常設し、臓器移植医療支援活動を開始。お客様からいただいた寄付玉・コインは金額に換算して、道内の店舗は公益財団法人北海道移植医療推進財団に、関東圏の店舗は社団法人日本臓器移植ネットワークに毎月寄付しており、加えて北海道移植医療推進財団には年間一定額の寄付も行っています。

各店舗には「愛の一玉ボックス」の他、「臓器提供意思表示カード(ドナーカード)」や弊社作成の啓発パンフレット、寄付玉集計票、ポスターなどが収められたボードが設置されています。

お客様からいただいた寄付玉・コインを金額に換算すると、2003年8月からの累計で1,587万円(20年6月現在)に達しました。これに弊社からの寄付金とイーグルカップ札幌オープンゴルフのチャリティー金を合わせた総計は4,690万円を超えました。

わたしたちイーグルグループは、
臓器移植医療を支援しております。



イーグルグループの思い

わたしたちイーグルグループは臓器移植医療の発展を願い、その推進団体であるAPO(日本臓器移植ネットワーク)と公益財団法人北海道移植医療推進財団及び社団法人日本臓器移植ネットワークを積極的に支援しています。この活動は数年前から行われていたパチンコ玉・コインを金額に換算し関係団体に寄付しており、皆さまとともに支援することに大きな意義があると想っています。皆さまの思いが、多くの命を救うために使われています。またイーグルグループでは、少しでも多くの方に臓器移植医療を知っていただくため、臓器提供意思表示カードやパンフレットを各店舗に設置しております。まずは皆さまが臓器移植医療について広く理解することが、支援の第一歩。一人でも多くの命を救うためにイーグルグループはこれからも臓器移植医療を支援していきます。

愛の一玉にご協力 お願いします。	臓器提供意思表示 カードを所持しよう。	改正臓器移植法が 施行されました。
<small>各店舗に設置している「愛の一玉ボックス」は、ホールで遊技するお客様が遊技終了後、ホールに落ちていたパチンコ玉・コインを金額に換算し関係団体に寄付する活動です。パチンコ玉・コインは金額に換算し関係団体に寄付する活動です。パチンコ玉・コインは金額に換算し関係団体に寄付する活動です。</small>	<small>臓器提供意思表示カードは、臓器提供の意思を表明する際に使用するカードです。臓器提供の意思を表明する際には、このカードを所持し、関係団体に提出する必要があります。</small>	<small>改正臓器移植法は、臓器提供の意思を表明する際に使用するカードの発行を義務づけています。関係団体のホームページをご覧ください。</small>

